

【生薬名】 厚朴 *MAGNOLIAE CORTEX*

【起源植物】 ホオノキ *Magnolia obovata*



【科名】 モクレン科 *Magnoliaceae*

【別名】

【薬用部分】 幹皮、根皮

【主成分】 精油、マグノロール、ホーノキオール、マグノクラリン

【薬性】 気味は苦辛温、帰経は脾胃肺大腸に属す

【効能】 ●燥湿除満、行気降逆

●胸腹部の膨満改善、利尿、健胃、強壮につかう

●腹部や腹部のはれ、膨満、腹痛に応用する

●気鬱に紫蘇葉とともに使い、精神状態の鬱にも使われ、代表処方
の半夏厚朴湯はさらに咳や喘息、ヒステリーにも応用される

●筋弛緩・抗痙攣、鎮静、抗消化性潰瘍、抗炎症、抗アレルギー、降
圧、鎮吐、抗菌、抗腫瘍の作用が認められている

●枳実と厚朴は気鬱を動かし体内の便毒を除き腹部症状の便秘・
下痢や精神症状などを改善させる、大承気湯や厚朴三物湯

●ストレス性潰瘍には有効

【備考】 ●薬用には成分含有量の多い中国産が適している

良品には断面にキラキラと結晶を認めることが出来る

●古来より、鎮静鎮痛の作用があるとして応用されてきた

【出典】 ●厚朴 苦温、脹を消し満を除き痰気瀉痢其の功緩ならず。(薬性歌)

●治中風傷寒頭痛. 寒熱驚氣. 血痺死肌. 去三蟲. (神農本草経中品)

【処方例】 ●半夏厚朴湯、大承気湯、平胃散